

発行日 2024年12月10日

改定日

環境経営レポート

【レポートの対象期間：2023年10月～2024年9月】

有限会社 馬場工業所

《ご挨拶》

昭和32年5月創業以来、製缶・溶接業をメイン事業として歩んで参りました。より精度の高いものが要求され、それに答えるべく信頼される企業を目指しております。地球環境に優しい企業として環境への配慮も企業活動への大きな役割として捉え新たな一歩を歩み出しました。以下、「環境経営レポート」としての取り組みをまとめましたので、私たちの取り組みをご高覧の上、ご指導やご指摘を頂き次の環境活動に活かしていきたいと存じます。



有限会社 馬場工業所
代表取締役社長
北村良祐

《目次》

1. 環境経営方針	P-1
2. 事業活動の規模	P-2
3. EA21推進体制	P-3
4. 環境経営目標とその実績	P-4
5. 環境経営計画の取組計画と評価	P-5
6. 環境関連法規制の遵守	P-6
7. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P-6

1. 環境経営方針

本方針は、当社の事業活動にかかわる環境問題への取り組みに対する行動の基準を示すものである。以下の項目を全社員に周知します。

- ①地球環境問題は人類共通の重要課題との認識のもとに、電気使用量の削減など環境との調和を経営の最優先課題の一つとして会社をあげて取り組む。
- ②環境問題を担当する社員は環境推進体制の整備、環境関連規定の整備、環境負荷削減目標の設定などにより継続的な環境保護活動の推進・徹底を図る。また環境監査により活動を確認して推進向上に努める。
- ③地球環境問題解決に関するニーズを的確に把握し、これに対する高度で信頼性の高い技術及び製品を開発することにより社会に貢献するように努める。
- ④製品の研究開発・設計の段階から生産・流通・使用・廃棄などの各段階における環境負荷を低減するよう配慮する。
- ⑤事業活動によって生じる環境への影響を調査・検討し環境負荷を低減するよう環境保全性・省エネルギー・省資源等に優れた技術、資材の導入を図る。
- ⑥国際的環境規制並びに国・地方自治体などの環境規制を遵守するに留まらず必要に応じて自主基準を策定して環境保全に努める。
- ⑦海外事業活動及び製品輸出に際しては、現地の環境に与える影響に配慮し、現地社会の要請に答えられる対策を実施するよう努める。
- ⑧従業員の環境への意識向上を図るとともに、広く社会に目を向け、幅広い観点からの環境保護活動により社会に貢献する。
- ⑨万一事業活動によって環境問題が生じた場合には環境負荷を最小化するよう適切な措置を講じる。

制定 2019 年10 月1 日

有限会社 馬場工業所
代表取締役社長
北村 良祐

2. 事業活動の規模

1. 事業所及び代表者名

有限会社 馬場工業所
代表取締役社長 北村 良祐

2. 所在地

〒316-0014 茨城県日立市東金沢町4-1-16

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役社長 北村良祐

現場環境責任者 : 工場長 吉沢政行

TEL : 0294-36-0852

FAX : 0294-35-2630

4. 対象範囲

有限会社馬場工業所 全組織、全活動

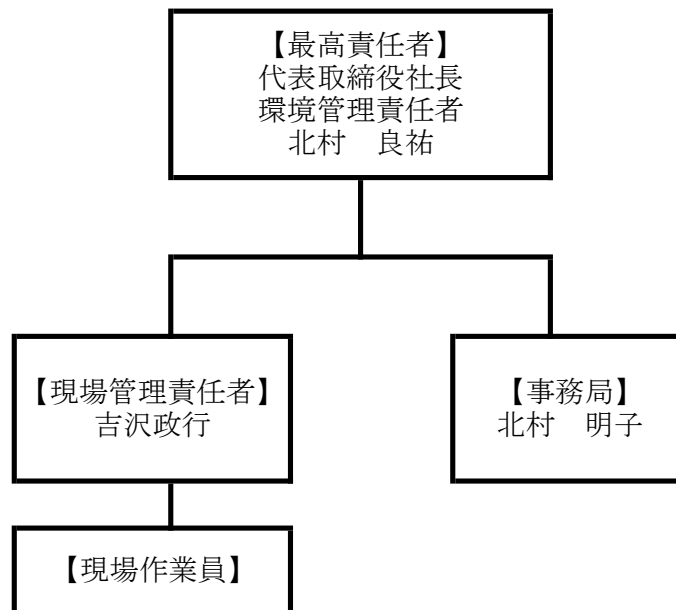
5. 事業の内容

発電機のモーターフレーム及び関連部品の製造

6. 事業規模

活動規模	単位	2023年度	2024年
従業員数	人	11人	11人
延べ床面積	m ²	686	686
売上高	百万	130.00	128.00

3. EA21推進体制



職名	役割
最高責任者	【代表取締役 北村 良祐】 ①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③環境経営方針を制定する。 ④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・環境経営目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
環境管理責任者	【北村 良祐】 ①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。 ③エコアクション21のPDCAサイクルを円滑に廻す為努力する。
事務局	【北村 明子】 ①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
現場作業員	①環境問題及び実施項目に対する問題点の予防処置、是正処置を実施する。環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性の理解。

4. 環境経営目標とその実績

1. 環境目標とその実績

*購入電力の調整後排出係数は、0.416kg-CO₂/kwh（東京電力エナジーパートナー）を使用しています。

2024年度の実績は、2023年10月～2024年9月のデータです。

環境目標	基準値	今年度目標				中長期の目標	
	2023年度	2024年				2025年度	2026年度
	実績	目標	目標値	実績	達成状況	目標	目標
①売上高100万円当たりの二酸化炭素排出量の削減(kg-CO ₂ /百万円)	208.64	2023年実績に対して1%削減	205.9	194.2	基準に対して6.9%削減できた。	2024年実績に対して1%削減	2025年実績に対して1%削減
②売上高100万円当たりの一般廃棄物排出量の削減(kg/百万円)	3.49	2023年実績に対して1%削減	3.45	3.66	基準に対して4.8%増加した。	2024年実績に対して1%削減	2025年実績に対して維持
③水資源投入量の削減(m ³)	204	2023年実績に対し1%削減	202	193	基準に対して5.4%削減できた。	2024年実績に対して1%削減	2025年実績に対して維持
④化学物質取扱及び管理の徹底	—	適正管理	—	適正管理	SDSに基く管理ができた	管理の徹底	管理の徹底
⑤本業に関する目標（不良発生件数/出荷数削減）	7件	2022年度に対して1件削減	6件	6件	達成できた	6件	6件

2. 主な環境負荷実績

環境への負荷	2023年	2024年
①二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	27123.5	24929
②一般廃棄物排出量(kg)	454	470
③水資源投入量 (m ³)	204	193

5. 環境経営計画の取組みと評価

* 2023年10月～2024年9月の活動の取組みと評価をしております。

環境経営計画	環境経営計画の取組結果とその評価
1. 二酸化炭素排出量の削減 ①空調温度適正化・表示 ②照明不要時のOFFの推進 ③エアコン清掃の実施 ④エコドライブ推進 ⑤社用車の点検・整備 ⑥焼鈍の効率的な運用	・電気使用量の目標値に対して減少することが出来ました。要因としては弊社の電気使用量の大半を占める焼鈍を要領良く行えたこと、こまめに電気のスイッチを消したりしたことがあげられると思います。
	次年度の取組内容
	今まで以上にこまめに電気の消し忘れがないかを確認したりエコドライブに取り組みます。焼鈍の量の変更できないのでなるべく1度に組める量を多くして回数を減らす努力をしていきます。
2. 廃棄物排出量の削減 ①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場の整備 ③産廃業者との契約書の確認 ④裏紙使用ルールの徹底	・廃棄物の量として増えてしまいました。普段から裏紙を使う意識を持っていますので引き続き意識していきます。産業廃棄物処理業者との契約書の確認を行いました。
	次年度の取組内容
	・分別ルール・集計方法を明確にしより良く全員で活動していく。
3. 水資源投入量の削減 ①毎月のメータの確認(漏水防止) ②節水表示(手洗い場・トイレ) ③トイレの節水	・元々、本業での水の使用はほとんど無かったので明確な変化はありませんでした。トイレや水道のところには節水のシールをはり意識付けをしました。
	次年度の取組内容
	・引き続き全員で節水の意識を心がける。
4. 化学物質取扱及び管理の徹底 ①取扱商品(化学物質含有)の把握 ②購入量の把握 ③SDSの入手 ④取扱商品一覧表の作成	・SDSシートを取り寄せました。弊社で保有している量を把握しました。
	次年度の取組内容
	・引き続き保有している量の把握をして適正管理すること。
6. 本業に関する目標(不良発生数低減) ①毎月1回の全体朝礼での啓発 ②リードタイム確保のための材料発注 ③納期に無理がないかの調整	・現場と発注者が密にコミュニケーションを取り納期を調整することで作業時間がひっ迫しての不良が無くなりました。目標を達成するためにさらに品質向上を目指します。
	次年度の取組内容
	・さらに1つ1つの精度をあげて不良0を目標に取り組んでいく。

6. 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
騒音規制法（日立市公害防止条例）	特定施設の届出	遵法
振動規制法（日立市公害防止条例）	特定施設の届出	遵法
廃棄物処理法	委託基準（契約書・許可証）、 マニフェスト交付・保存及び交 付状況報告	遵法
消防法	簡易点検の実施、消火器の定期点 検の実施、点検等の履歴の保存	遵法
PRTR法	年間使用量の確認（届け出の必要性確認）	遵法

2024年11月1日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

コロナ過も落ち着いてきて仕事量は比較的落ち着いてはきたが原材料費や光熱費が高騰してきたので今までより一層の努力が必要だと感じました。引き続きこまめな節電、エコドライブへの取り組みを意識して動いていきます。